

第64次技術教育・家庭科教育全国研究大会

主催：産業教育研究連盟 後援：東京都市大学・東京都教育委員会(申請中)

<http://www.sankyoren.com>

大会テーマ 「巧みな手、科学する頭、人と人を結ぶ心を育む技術教育・家庭科教育」

研究の柱

1. 技術教育・家庭科教育が抱えている問題点について情報交換し、それを中教審の審議にどのように反映させるかという観点から検討します。
2. 学習指導要領の内容を実践的に検討しながら、教科のなかで子どもに真につけさせたい力を探ります。
3. 子どもをひきつける教材についてさまざまな角度から検討し、魅力ある授業の内容と方法を探ります。

日程 2015年8月2日(日)～4日(火)

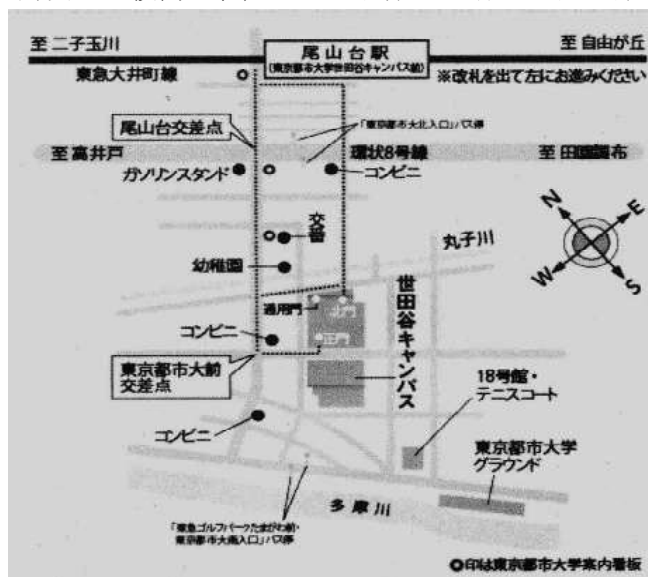
会場 東京都市大学 世田谷キャンパス

〒158-8557 東京都世田谷区玉堤 1-28-1

TEL：03-5707-0104 (代)

FAX：03-5707-2222

交通 東急大井町線「尾山台（東京都市大学世田谷キャンパス前）」駅下車徒歩12分



日程・時程

日時	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
8/2(日)		受付	実践講座(実技のイロハ:材料加工・工具の手入れなど)	昼食	基調提案(全体会)	分科会①加工・ものづくり			教材教具発表会	連盟総会	
8/3(月)		受付	分科会②電気・機械・情報	昼食	分科会③教育条件・教育課程	実技コーナー「匠塾」				交流会 ～19:30	
8/4(火)			分科会④食と農	全体会	昼食						

* 準備の都合上、交流会は、大会参加申込の際、予め参加の有無を記入して下さい。

産業教育研究連盟（略称 産教連）は

技術教育・家庭科教育に関わりある小・中・高・大学の教員や学生などで運営している民間教育研究団体です。ホームページ<http://www.sankyoren.com>で日常の活動を公開しています。

実践講座(実技のイロハ) 2日(日)10:00~12:00

◆はんだ付け指導のスキル

生徒が確実にはんだ付けがうまくなるための原理の理解と道具の準備、そして指導の勘所を実際にやりながら学びます。

◆立体的な授業づくりのヒント

身近な素材である「木綿」綿から糸、さらに布へと素材が加工されていく過程を「実物」「模型・教具」「DVD」を駆使した授業を紹介します。技術と家庭の両分野に対応。

分科会

①加工・ものづくり 2日(日)14:00~16:20

道具や機械を使い、材料にはたらきかけてものをつくることを通して学ぶ授業は、技術教育・家庭科教育の大事な要素です。日常生活でのものづくり経験が少なくなっている子どもたちに、限られた時間数の中で、何をどのように教えていくべきなのか悩むところです。授業づくりや教材選定の視点、指導の工夫など実践を持ち寄って、わかる・できる・たのしい授業について討論します。

②電気・機械・情報 3日(月)9:30~12:00

電気・機械・情報などの工学的な分野は技術教育として大事な分野です。産教連では技術・科学の原理をいかした教材の探究を重視してきました。生産技術について理解を広げるための基礎・基本とは何か、生徒の理解を促すにはどのように指導するのがよいか、それぞれ具体的な実践を出しあって検討していきます。光、音などを検知して制御する Ardu Block の実践報告も予定しています。

③教育条件・教育課程 3日(月)13:00~15:00

技術・家庭科の教科時数が少ないことにより、教える内容が限定されてしまうのが現実です。そして一人の教員の受け持つ生徒が多いことや専任教員のいない学校の増加など、教育課程・教育条件に多くの制約がかかっています。このことは教科教育の根幹をぐらつかせる深刻な問題です。教育条件や評価について意見交換しながら、どんな工夫や取り組みができるのか、次の学習指導要領改訂に向けての展望について討議します。

④食と農 4日(火)9:30~11:50

作物を栽培し加工して食べるということは、生きるための最も基本的な技術です。ここには子どもたちに学ばせたいことがたくさんありますが、限られた時間の中でどんな授業ができるのか。栽培し収穫したものを加工し調理する技と家のコラボレーションの実例、1時間の授業で調理実習を行う工夫は? 評価は? などの課題、学校ごとにことなる施設・用具・材料の準備や条件をどう活かすか、学校外の方との連携をどうするかなど意見交換をします。

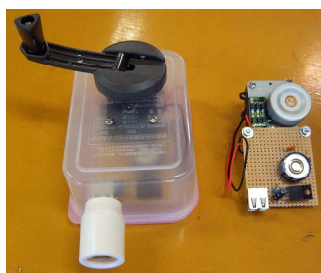
教材教具発表会 2日(日)16:30~17:30

手づくりの教材や教具の発表会です。実習題材、演示教具、視聴覚教材など多様なものを持ち寄っての発表です。ぜひとおきの教材教具をご持参ください。常時展示コーナーもあります。

実技コーナー「匠塾」 3日（月）15:15～17:30

恒例の実技コーナー「匠塾」は産教連大会の特徴のひとつです。授業にすぐに活かせる教材・教具を作ります。実践講座(実技のイロハ)関連の実技的な内容も扱います。時間いっぱいかけてつくるものや2つ3つと取り組んで授業のネタや材料をいろいろ仕入れることもできます。①～⑤は出店予定。当日持ち込み出店歓迎。製作実費は必要です。写真は製作風景と作品。

- ①簡単でおいしいパンづくり
- ②手縫いですぐできるティッシュケースやブックカバー
- ③これなら使える手回し発電充電装置
- ④熱湯で融ける金属の紹介や低融合金による casting
- ⑤延長コードの製作とその実験装置など



交流会 3日（月）17:30～19:30

大学4階のラウンジでの懇親会です。分科会で話し足りなかったことや聞き漏らしたことなど参加者がより自由に語り合える場です。老若男女が経験などを気楽に語ります。そこから思いもよらぬ発想、展開が浮かぶのではないのでしょうか。事前申し込みをお願いします。

レポート発表（提案）・匠塾出店・教材教具発表される方へのお願い

誰でも自由に発表し、討論に参加できます。実践報告、教材や教具の発表、テスト問題など多様な提案や資料提供をお願いします。資料は80部用意して下さい。できるだけ事前送付をお願いします。

レポートや教材教具など荷物の送付は、8月1日(土)午後2時～4時の配達時間帯指定で「東京都市大学共通教育部 岩崎研究室」宛てにお願いします。

レポート発表等を希望されるかたは、

下記実行委員会に希望分科会とテーマを7月31日(金)までにお知らせください。

問い合わせ先	大会実行委員会 亀山 俊平
(実行委員会)	〒195-0061 東京都町田市鶴川4-2 8-5
	TEL 042-734-5052 kame@mbj.ocn.ne.jp

- その他
- 1、キャンセルまたは変更の場合は、必ず、事務局(大会会計)の野本までご連絡下さい。
 - 2、キャンセルの時、参加費の返金は、資料の発送をもって代えさせていただきます。
 - 3、申し込みをされた方の氏名・住所などの個人情報、産業教育研究連盟(産教連)の活動以外には一切使用いたしません。

参加費 全日程参加 4000円(会員3000円、学生2000円) / 1日だけの参加 3000円(会員2000円)
交流会参加費3000円 ※交流会は準備の都合上事前予約が必要です。
・宿泊が必要な方は各々手配をお願いします。(溝の口駅・大井町駅周辺が便利です)
・昼食については、会場周辺に飲食店、店舗があります。

申込 産教連 webページ <http://www.sankyoren.com> から申し込みの上、参加費等を下記口座にお振り込みください。
または、下記の参加申込書を**事務局**へ郵送のうえ、お振り込み下さい。

振込先 三菱東京UFJ銀行 こうほく 港北ニュータウン支店 普通0605258 さんきょうれん 「産教連 全国研究大会」

申込期日 7月31日まで (大会当日も受け付けます)

事務局 野本勇 〒224-0006 神奈川県横浜市都筑区荏田東4-37-21

TEL 045-942-0930

第64次 技術教育・家庭科教育全国研究大会参加申込書

氏名

〒 _____ 住所(都道府県名から記入)

連絡先の電話 () e-mail:

所属(勤務先)

◆ あてはまる項目に○印をつけてください。

参加日: 8/2(日) 8/3(月) 8/4(火) 参加費: 一般 会員 学生 (円)

性別: 男 女 交流会: 参加 不参加 (円)

振込金合計 (円)

◆参加予定の分科会: 分科会 ① ② ③ ④ 当日の変更は支障ありません。